

# 後発医薬品・バイオ後続品の使用促進について

当院では、厚生労働省の後発医薬品（ジェネリック医薬品）・バイオ後続品（バイオシミラー）の使用推進の方針に従い、患者負担の軽減、医療保険制度の維持等を目的として後発医薬品およびバイオ後続品を積極的に採用しております。その為、当院で処方する薬剤は後発医薬品・バイオ後続品になることがあります。ご理解賜りますよう、しくお願い致します。ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。

## ● バイオ後続品（バイオシミラー）とは

- ・ジェネリック医薬品と同様に、先行バイオ医薬品の特許が切れた後に他の製薬会社から発売される医薬品です。
- ・先行バイオ医薬品と同等/同質の品質、安全性および有効性が様々な臨床試験により確認されています。
- ・先行バイオ医薬品よりも低価格なため、患者さんの医療費負担の軽減が期待されます。

バイオ医薬品をお使いのみなさまへ

### 効果や安全性はそのまま 経済的負担を軽減する



**「バイオシミラー」**  
というお薬があります

**バイオシミラーとは？**

- ジェネリック医薬品と同じように、先行バイオ医薬品の特許が切れた後に他の製薬会社から発売されるお薬です
- 先行バイオ医薬品と同等/同質の品質、安全性および有効性が様々な試験により確認されています
- 先行バイオ医薬品よりも低価格なため、患者さんの医療費負担の軽減が期待されます

**バイオシミラーが使われている病気の例**

- ・がん・クローン病・潰瘍性大腸炎・関節リウマチ
- ・パーキンソン病・強直性脊髄炎・特発性関節炎
- ・乾癬・低身長症・糖尿病・腎性貧血・骨粗鬆症
- ・ファブリー病・加齢黄斑変性 など

詳しくは医師または医療スタッフへお尋ねください

笑顔をこれからも  
日本が世界に誇る国民皆保険を次の世代にも

個人の医療費負担の軽減はもちろん、子供や孫の世代にも安心した医療をみんなが受けられる国民皆保険制度を守るためにも、私たち一人一人が考えてみませんか？

詳しくはこちら



## 今までも。これからも。



ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される、**新薬と同一の有効成分を同一量含む、効き目が同等な医薬品**のことです。

その先には、ひろがる笑顔。

安心・信頼 Anshin Shinrai	未来 Mirai
<b>国の厳しい審査をクリア</b> ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。	<b>医療費を有効活用</b> 個人負担の軽減だけでなく日本全体の医療費の効率化が可能です。その医療費は新技術や新薬の導入に活用できます。
<b>低価格で個人負担が軽くなる</b> 新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。	<b>医療保険制度を次の世代に引き継ぐ</b> 少子高齢化が急速に進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

ジェネリック医薬品に関する情報は  
厚生労働省 ジェネリック (検索)